

子どもの権利に関する条例市民モニター会議に参加して

平成 28 (2016) 年度

A さん (子ども市民モニター)

さまざまな年齢や職業のいろんな目線から見る意見が出てとても楽しかったです。やはり「人権の日」をどのようにみんなに伝えて知ってもらうか、もっと工夫が必要だなと思いました。そのためには、まず自分自身が「子どもの権利条約」について理解する必要があるとも感じました。私も学校などで機会があれば、「人権の日」のことなどを話したいと思います。あと、関係ないのですが、最後の自由時間に出た、「泉南市フェス」という意見はすごくいいなと思いました。泉南市が仲良くなれる気がします。ぜひ実現してください。

B さん (子ども市民モニター)

先日はありがとうございました。様々な人の意見を聞いて、とても勉強になりました。その後家で「子どもに優しい町」のために、何をしてほしいのか考えました。私は道のでこぼこを直してほしいと思いました。私が一丘中学校に行くときに通る道はでこぼこが激しく、かごの荷物がとてもはねて、たまには落としそうになります。そんな道を小さい子どもが歩いたり、自転車で走ったりするのはとても危険です。工事のためには多くの時間と人とお金が必要だとは思いますが、よろしく願いします。あと何かイベントをするときは家族で参加するのがいいと思います。「家族」は近すぎてその大切さに気づきにくいと思うので、そういうイベントがあれば絆が深まるのではないのでしょうか。次の活動のことなんですが、私は来年度、中3になりますので、私ではなく後輩に参加させたいと思っています。

C さん (子ども市民モニター)

第1回と第2回のどちらも行かせていただきました。泉南市のすばらしさや、子どもを大事にしようと思う心が伝わり、本当に泉南市民で良かったと思いました。次回のキッズカフェですが、私も行きたいので高校生をアシスタントとして募集してほしいです。主にするのは小・中学生で、高校生は服装を手作りしたり、会計など（あとコーヒー係なんかもあったらいいですね。）とりあえず、次回のキッズカフェの詳細が決まったら、お知らせのお手紙を送ってくださるとうれしいです。では次回の会議でお会いしましょう。

Dさん（子ども会議メンバー）

とても楽しかったです。「泉南子ども会議」の今年度の活動をふりかえりつつ、みんなに「泉南子ども会議」のことを深く知ってもらえたことは一番良かったと思っています。他にも「生徒会」や「キッズカフェ」の取組が知れてうれしかったです。

今年度の取組で実現させたと、ぼくが思った権利条約が3つあります。1つ目は、第12条「意見を表す権利」です。市長報告のとき、泉南市のこんなところが、こんなになってほしいということや、子どものなやみを言ったことで、実現できたと思います。2つ目は、第15条「結社、集会の自由」です。子ども会議のこともそうだと思うし、イベントなども子どもで活動したことでこれも実現できたと思います。

他にも実現できた条約があると思います。実現された1つ1つの条約が未来の子どもに大きな影響を与えたいと思います。

ぼくは全国各地に住んでいる人々に、「子どもの権利条約」を知ってもらいたいと思っています。そのために、講習会を開いたり、生徒会や泉南子ども会議、キッズカフェで話し合ったりしたら良いと思っています。最後に、このような会議を開いてくださりありがとうございました。来年も参加したいです。よろしくお願いします。

Eさん（キッズカフェメンバー）

第2回だけ行きましたが、子どもの居場所を増やしてほしいなあと思いました。たとえば公園や施設を作ると、子どもも「泉南はいいところだ。」と思ってくれるはずですよ。あんな機会は絶対ないなあと思いました。小学生と中学生の思っていることは全然違うので、話を聞いて良かったです。

Fさん（おとな市民モニター）

今回で2回目の出席でしたが、今回も子どもたちが本当に真剣に自分たちや周りの子どもたちの現状について考えていることに感心しました。（自分が彼らくらいの年の時にそこまで考えて生活していませんでした…）

また、今回は実際に子どもたちが主体となって行なった活動の報告を聞くことができ、更に感動しました。自分たちだけで何かを成し遂げるといことは、なかなかできないことだし、大変なことも多かったと思いますが、その活動を通して、学び、成長できたようでうれしく思います。残念なのは子どもたちの意見でもありましたが、せつかくこのようなすばらしい取組があるのに、他の市民はあまり知らないということです。もっと多くの子どもたちが気軽に参加できるようになると良いなと思います。

Gさん（おとな市民モニター）

キッズカフェ当日の頼もしい接客ぶりに、感心してから早4ヶ月、メンバーと再会できてうれしく思いました。参加できなかった壁面ペインティングを動画で見、2つのイベントについて、たくさんの意見や反省したこと、4班の発表もすべて子どもたちだったことも非常に印象に残り、居場所づくり継続の必要性を痛感しました。

Hさん（おとな市民モニター）

子どもの権利条例市民モニター会議を引き続き開催して下さりありがとうございます。キッズカフェに参加された子どもさんの意見が聞けて良かったです。ほとんどのことを子どもたちが自分たちで決め実行できた点がとても意味のあるイベントになったと感じました。子どもさんから記念品としてハンカチをいただいたけど、お礼も自分たちで決めなかったという意見もでて、すべて自分たちでやりとげたかったという思いが強くて、意欲もあり、とても良い意見が出たと感じました。出費を考えると余るお金はないとおとなはわかりますが、余ったお金で～と言われるとわからない子どもさんも多いと思いますので、「出費が多くてお金は余らないけど、記念品を渡したいので、売り上げと出費の差額で何がいいか考えてください♪」というような話もしてもいいのかなと感じました。このような取組をもっとたくさん子どもたちに知ってもらうために、グループでも発表で伝えていただいた、各学校に必ず一人は子ども市民モニターが在籍して、子ども市民モニターから全校生徒に発表してもらう機会を作っていただけたらと願っております。ありがとうございました。

Iさん（おとな市民モニター）

学校という枠から外れて、好きなことに取り組むとき、子どもは喜々として大きな力を発揮するということが今回感じさせられました。「サザンびあ子どもアート」も「キッズカフェ」も未知なる体験で、ほとんどの子が緊張と不安を感じていたようですが、本番に向けてみんなで取り組む中で学んだこと、そして実際にやってみて感じた達成感、「喜んでもらえて嬉しかった」という思いは、貴重な体験だったと思います。キッズカフェに関わらせていただいた私も、子どもの持つ可能性にとっても頼もしいものを感じました。何よりもこれらのイベントはおとながサポートしつつも、子どもの力を信じて、任せたとしたこと、そして後できちんと評価したことは、子どもたちにとって次への意欲につながるものとなっていることと思います。子ども会議のメンバーは全国の子どもたちとの交流も経験してさらに自信を深めたようです。単発のイベントではあってもそれらを積み重ねることで、心の中では継続されていきます。子どもの居場所は特別に設定することより、子どもにとって安心できる場所、気兼ねなく話せる場所、のんびり休憩し、また力の再生につながる場所などをまずおとなが心がけること、つまり我が家がまず第一ですが、それ以外にいくつあってもよいものだと思います。あるいは我が家以外に求めざるをえない場合もあるかもしれません。そのためにも廃園になった幼稚園や空き家、空き店舗（予算があれば）あるいは地域の老人会や子育てサロン、趣味のサークルなどを小中高生にまで拡大して世代を超えた交流を図ることや、老人ホームやデイサービスセンターなどの協力を得ることも考えてはどうかとも思います。

子どもの権利条例が制定されている数少ない市である泉南市は、これを大切に、有意義に発展させていかねばならないと思います。すべての子どもたちが地域に、泉南市に誇りを持って成長して巣立ってもらいたいし、また次の世代を愛情をもって育ててもらいたいと願っています。そのための環境づくりに微力ですが何かお役にたつことがあれば、お手伝いさせていただきたいと思っています。

Jさん（おとな市民モニター）

市民モニターの一員として、参加させていただきありがとうございました。児童・生徒のみなさんと接して、嬉しい気持ちになりました。

今回は、参加者も多く、意見も多く発表され、条例の意義が強く打ち出されていました。中には、行政に希望する意見もあり、とても頼もしく感じました。市政に関する思いは内容に違いがあるだけでおとなの思いも、子どもの思いも大切なことだと思います。そのような課題にふれる感性を育てる機会でもあったようです。

「子どもの居場所について」が、テーマでしたが、いくつかの枠組みがありました。枠組みを設定すると意見が出やすい面もありますが、日常生活、学校生活、家庭生活の中から各自の体験を発表する方法もあるように思います。

居場所は、自分の存在を認識できる場所、活動できる場所、などいろいろあり自信を育み、勇気をもたらす貴重な場所だと思います。ところが、周りの人から無視される場合は居場所がないことになります。このような状況は人権の上からお互いに配慮しなければならないことではないでしょうか。

時間的な問題もありますが、モニター全体の交流の場面もあればいいなあと思いました。

Kさん（おとな市民モニター）

会議に参加していた子どもたちが、自分の考えをしっかりお話ししてくれたのが素晴らしく感動しました。

報告されていたサザンびあ子どもアートやキッズカフェがいつ、どこで行われていたのか全然知らなかったので、今後、子どもたちが行う活動があれば、あらかじめ教えて欲しい。

グループワークで、活動の成果や課題など、意見も求められても、実際に行われていた様子を見ていないので、内容がわからないところがあり、話しづらかった。

広報のチラシやマスク配布することが今後もあるならば、QRコードを載せてはいかがでしょうか。

Lさん（おとな市民モニター）

キッズカフェなど今までやってきたことが子どもの権利条例を実現するものだったと、後から知ることになったけれども、つながりがわかってよかった。子ども会議に参加した理由が聞けて良かった。子どもたちが一人ひとりしっかり自分の意見を持っていてそれをみんなの前で伝えることができる、そのことに毎回驚かされています。

今後は子ども会議で話したことや、キッズカフェの準備での話し合いのこととか、学校の友達にもどんどん話して行ってほしい。今は子ども会議やキッズカフェのことは学校で話をしないと聞いていたので。